

ユーシン事業

欧州事業の早期ターンアラウンドとシナジー最大化をはかり、車載ビジネスを中心に競争力向上へ

執行役員
ユーシン事業本部長
中村 医



コア・コンピタンス

メカニカル機構から電子技術、さらにはソフトウェアまで、クルマに関するあらゆる分野のシステムを開発設計から生産まで一貫して手掛けるノウハウを持っています。広島マザー工場では、商品開発、試作、量産、市場投入、品質保証まで一貫対応するほか、金型を中心とする基幹部品の内製化により外部へのノウハウ流出も防止しています。



ユーシン 広島工場

機会

- 自動車におけるドア開閉システムの電動化／高機能化に伴う高付加価値品へのシフト。
- コネクテッドカーへのシフトによるデジタルキー市場の増加。
- ハンドル、ラッチ、CSD^{*}の高付加価値化による1台当たり要素部品点数の増加。
* Compact Spindle Drive
- CSDの搭載率向上。

リスク

- 競合他社による攻勢の強化およびそれに伴う価格戦略への影響。
- 景気動向や部品調達難等を背景とした自動車メーカーの生産調整。
- 部品／機能の安全性や共通化等の要因により自動車メーカーが既存製品を 선호する可能性。

機会とリスクへの対応

- 構造改革の実施により低価格品から高付加価値品にシフト。
- 技術のプレゼンスを高め、高級車メーカー向けハイエンド製品の開発を加速。
- 当社独自のモジュール化／アクチュエータ化による共通エンジンを開発。

2022年3月期の概要

自動車部品は、自動車市場減速による影響を受けましたが、セグメント変更による約300億円の増加があったことに加え、国内自動車向けの販売が回復したことにより増収となりました。この結果、売上高は1,456億円、営業利益は7億円、営業利益率は0.5%となりました。

2023年3月期の見通し

自動車生産の回復と、2021年3月に発表した欧州における構造改革による固定費削減効果などが見込まれることなどにより、増収増益を見込んでいます。

中期事業計画

市場回復と高付加価値品へのシフトで収益力強化

主なポイント

- 1 高付加価値製品へのシフトを加速
① CSD ② Flush handle ③ e-Latch
- 2 構造改革の成果
欧州事業は今期からのターンアラウンドを目指す
- 3 相合ハンドルなど
成長戦略の成果が発現へ

『「相合力」でオンリーワンを目指す』戦略

ミネベアミツミの優れた要素技術をTier-1メーカーであるユーシンの車載製品に織り込むことにより、より付加価値が高くハイエンドな車載製品を生み出す活動をおこなっています。主要なアイテムは以下の通りです：

センサー技術 × E-ハンドル

ミネベアミツミのセンサー技術とユーシン事業の固定式E-ハンドルを融合した開発をおこなっています。



ドアハンドルを軽く引くことで電氣的にラッチが解除され、軽い操作感でドアを開閉できます。電源喪失時でも解除可能とするためのエマージェンシーモードも検討しています。

光学技術 × オーバーヘッドコンソール

ユーシン事業製品のオーバーヘッドコンソールにミネベアミツミの光学技術を搭載し、独自のデザイン性と高い性能を持ち合わせた車室内照明を開発しています。

次の10年を見据えた基本戦略

ユーシン事業は、欧州事業のターンアラウンドとシナジーの創出をはかり、車載ビジネスを中核として事業拡大していくことが基本戦略となります。そのためには、品質改善や生産性の向上、経営管理体制の強化などのほか、グループ全体のグローバル人材や製造ノウハウを注入することで早期の収益改善を進めるとともに、技術の「相合」により競争力のある製品を確立してまいります。

シャンデリアのような深い輝きや、調色／調光機能を搭載したスマートな印象など特徴のある照明を開発し、お客様のご要望や車両のコンセプトに合わせてご提供します。



無線通信技術 × アクセス技術

ユーシン事業がキーレスキー等で培ったアクセス技術とミツミ事業として培った無線技術を融合させ、スマートフォンを車の鍵として利用する『Digital Key System』を開発しています。UWB (Ultra Wide Band) 通信と独自の測位アルゴリズムを組み合わせることで、高い精度で鍵(スマートフォン)の位置を検出できる技術を確認しています。



社会的課題解決製品の開発と部品供給

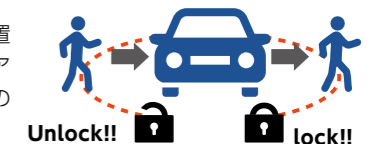
ユーシン事業が保有するアクセス技術に加え、ミツミ事業が保有する無線通信技術を相合した独自の『Digital Key System』の開発をおこなっています。これは、スマートフォンを使用してドアの施錠およびエンジンスタートをおこなうシステムで、スマートフォンを自動車のキーの代わりに使うことで自家用車の利便性向上に加え、カーシェアリングやトランクの宅配ボックス化等、多様なモビリティの活用にご貢献することが可能となります。

このシステムで培ったUWB (Ultra Wide Band) 技術を用いて、幼児置き去り検知等の車内乗員検知センサー

へ応用することも検討しており、今後さらに安心安全なモビリティ社会へ貢献してまいります。

Passive Entry

車外にあるスマホの位置を検出し、所定のエリアに入ると自動的にドアの施錠をおこなう



Engine Start

車内にスマホが有ることを検出しエンジンスタートを許可する

